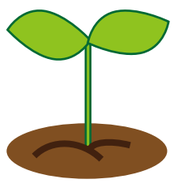


みんなで育てよう 男女共同参画の芽

Gender equality

このコーナーでは、男女共同参画社会の推進に向けて、男女共同参画に関するさまざまな情報を隔月で発信していきます。

今月は、「誰もが能力を発揮できる職場、仕事と生活の調和」について、現状とその関連する取り組みに

誰もが能力を発揮できる職場、仕事と生活の調和の実現に向けて

「職場での男女の地位の平等感」について、意識調査によると『男性優遇』が『女性優遇』を大きく上回っていることが分かります（図1）。また、家事関連時間は、妻の有業・無業にかかわらず、妻の分担割合が大きくなっています（図2）。

働きたい全ての人が、性別に関わりなくその能力を十分に発揮できる環境づくり、また仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を実現するための取り組みが求められています。

○誰もが能力を発揮できる職場に向けて

「鹿児島県女性活躍推進宣言企業」について

県女性活躍推進会議では、女性が働きやすい環境づくり、制度の導入、登用や採用目標などに積極的に取り組む企業を「鹿児島県女性活躍推進宣言企業」として登録しています。宣言企業に登録して、誰もが働きやすい雇用環境に向けた自社の取り組みを求職者等へアピールしてみませんか。

○仕事と生活の調和の実現に向けて

家庭生活への参画を支援するために

自分の食べるものを自分で作れるよう、栄養士が考えた、簡単でバランスのとれた料理を作るなど、男性の家庭生活への参画を進める機会を提供しています。ぜひ、参加してみませんか。

家庭内でお互いを尊重する意識を育てるために

家庭教育学級や高齢者学級、市人権問題啓発研修会の中で、人権を尊重することを通じ、男女共同参画社会の実現に向けた学びの場を設け、家庭内でお互いを尊重する意識を育てるための取り組みを行っています。

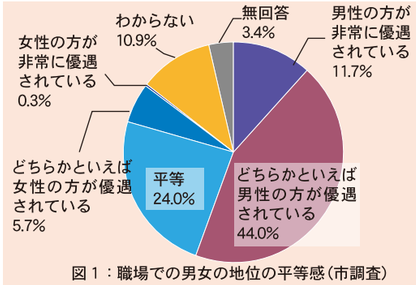


図1：職場での男女の地位の平等感（市調査）

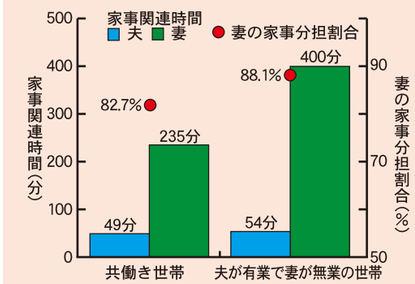


図2：夫婦の家事関連時間（県調査）

■問合せ　企画調整課政策推進係　TEL76-1090

カラダとこころ

健康づくり、生活習慣病予防、介護予防等に関する

春から備える熱中症対策

熱中症は気温などの環境条件だけでなく、人間の体調や暑さに対する慣れなどが影響して起こります。気温がそれほど高くない日でも、湿度が高い・風が弱い日や、体が暑さに慣れないときは注意が必要です。体温調節機能が低下している高齢者や、体温調節機能がまだ十分に発達していない小児・幼児は、成人よりも熱中症のリスクが高く、更に注意が必要です。

○急に暑くなった日や、活動の初日などは特に注意

人間の体は熱い環境での運動や作業を始めてから3～4日たたないと、体温調節がうまくなってきません。このため、急に暑くなった日や、久しぶりに暑い環境で活動したときには、体温調節がうまくいかず、熱中症で倒れる人が多くなっています。

○暑くなる前に備える

上手に汗をかいて放熱できるようになるために、本格的に暑くなる前から、体を暑さに慣らして汗をかく練習「暑熱順化」を意識しましょう。暑熱順化には個人差もありますが、数日から2週間程度かかります。生活スタイルに合わせ、無理のない範囲で暑さに備えた体づくりを進めましょう。普段から運動する習慣がない人や難しい人も、日常生活の中できっかけを見つけて継続することが大切です。

暑さ対策グッズや、いざという時に備えて応急処置のアイテムも一式揃えておくと安心です。エアコンは、必要なタイミングで「すぐに」「効率的に」使えるよう、事前の点検も忘れずに。

○熱中症警戒アラート

危険な暑さが予想される場合に、暑さへの「気付き」を促し熱中症への警戒を呼びかける熱中症警戒アラートは、熱中症の危険性が極めて高くなると予想される日の前日午後5時頃、または当日午前5時頃に発表されます。令和7年度の熱中症警戒アラート等の発表は4月23日午後2時から開始予定です。

■問合せ　健康センター　TEL72-7176

新着本紹介

●一般書　○児童書

●元公認会計士が月7万貯めたかさましフライパンレシピ／山口　あんな（著）／主婦の友社

●目には目を／新川　帆立（著）／KADOKAWA

●私が選ぶ高齢期のすまい活／近山　恵子（著）／櫛引　順子（著）／佐々木　敏子（著）／彩流社

○ふねのずかん　やく目とつくり／小賀野　実（監修）／桂樹社グループ（編集）／汐文社

○もしも明日、ぼくの足がなくなったら／舟崎　泉美（著）／Gakken

○パパとママのよびかた／なりさらり（文）／森　千夏（絵）／文芸社

イベント

こころイキイキコンサート

日時　4月18日（金）
午前10時30分
～11時30分

場所　市立図書館2階閲覧室

演奏　てみてる

アイリッシュハープ＆ギターの優しい音色が奏でる癒しのハーモニーをお楽しみください。

※参加は無料です！

雑誌リサイクルデー

日時　4月18日（金）

保管期間を過ぎた雑誌を差し上げます。欲しかったあの雑誌があなたのもとへ…。お楽しみに♪

募集！令和7年度　わくワーククラブ

図書館の仕事（ワーク）をわくわく楽しみながら、いろいろな学校・学年の児童・生徒たちと体験してみませんか。

対象　小学4年生～高校3年生

年間通して月1回活動をしています。

お問い合わせ・申し込みは図書館まで。

図書館だより

No.396

市立図書館　72-9254

ホームページ
https://www.city.makurazaki.lg.jp/site/library/

★開館時間　9:30～18:00

カレンダー　4月10日～5月9日

日	月	火	水	木	金	土
				4月 10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	5月 1	2	3
4		6	7	8	9	

□休館日　☆イベント
○おはなしのへや　午後3時～（絵本と紙芝居の読み聞かせ）

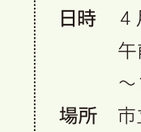
音訳ボランティア「ひだまり」について

●活動内容　毎月、「広報まくらざき」をCDに音訳し、視覚障害の方へお届けしています。

●今月の担当　揚野さん、中釜さん

●会員募集中　問い合わせは図書館まで。

防災掲示板



「本震」と「余震」

平成28年4月14日、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード6.5の地震が発生し、益城町で震度7の揺れを記録しました。4月16日には最初の地震よりも大きいマグニチュード7.3の地震が発生、益城町と西原村で震度7を記録したほか、熊本市を含む広い範囲が強い揺れに見舞われました。従来は最初に発生した大きな地震を「本震」、その後に起こる地震を「余震」と呼んでいましたが、本震と思われていた最初の地震の後に、それ以上の大きな地震が発生したのです。余震というとどうしても、本震より規模の小さな地震という印象を与えてしまうので、余震という呼び方はせず「同程度の地震」への備えを呼び掛けることが基本となりました。

問合せ　総務課危機管理対策係　TEL76-1086

枕エコ

MAKURAZAKI ECO PROJECT

環境・ごみ減量・動物愛護などに関する情報を発信するコーナー

今月のテーマ

火災危険物は資源ごみの日に出しましょう

市では、スプレー缶やライター類、電池類は「資源ごみ」の『火災危険物』として出すようにお願いしていますが、「もえないごみ」に入れて違反ごみとなっているケースが見られます。この『火災危険物』が正しい分別区分で出されず、収集車やごみ処理場から出火する事故が全国的に発生しております。出火が原因で収集やごみ処理が停止すると皆さんの生活に大きな影響を及ぼします。

●火災危険物として資源ごみの日に出すもの
- ガス缶、スプレー缶（使い切って穴を空ける）
- ライター類（使い切る）
- 電池類

※ひとつの資源ごみ袋にまとめて入れて出してください。

問合せ　市民生活課環境整備係　TEL76-1097